



NEW

ピアノのルーツと歴史 ①

バッハやモーツァルトが愛用した打弦楽器・ピアノの先祖とは？

私たちがお客様でもあり、親しみやすいコンサートで人気のピアノ連弾デュオ中村姉妹と博士がピアノ・カフェでおしゃべり。今回は、ピアノのルーツと誕生について語りました。



連弾デュオピアニスト
中村姉妹 (左) 姉・悠子 (右) 妹・紗也子

姉妹ともにフランスの複数の音楽院にてピアノクラス、室内楽クラスを首席で卒業。CDアルバム「RESPIRE レスビレ～音の息吹～」、初心者向けのレッスンDVD「美人中村姉妹シークレットピアノレッスン」好評発売中。

悠子 ピアノは鍵盤を弾くことできれいな音が出ます。構造はとても複雑だと思うのですが、誰でも、気軽に弾ける素晴らしい楽器ですよ。

紗也子 小さな音から大きな音まで出るし、演奏者の弾き方によって全く違う音が出るから、奥が深いなあと、いつも思います。

博士 ピアノは一台でオーケストラの音域をほぼ全てカバーしており、究極の楽器と言えるのじゃが、ここに至るには長い歴史があったんじゃ。

紗也子 モーツァルトの時代は、ピアノではなく、まだチェンバロやクラヴィコードが主流だっ

たと聞くと不思議な気持ちになります。

悠子 バッハの『チェンバロ協奏曲』は有名ですよ。チェンバロとクラヴィコードはどう違うのでしょうか？

博士 クラヴィコードは最も歴史が古い弦楽器のひとつで、14世紀ごろには存在し、ルネサンス期には上流家庭に普及しておったんじゃ。一方、チェンバロは15世紀ごろに誕生したと言われ、形も現在のグランドピアノに近い。しかし音を出す仕組みを見ると、チェンバロは弦を「引っ掻く」のに対し、クラヴィコードは弦を「つつく」ことで音を出す。弦を「叩いて」音を出すピアノに近いのはクラヴィコードと言えるのじゃよ。

紗也子 「つついて」音を出すなんて、クラヴィコードはとてもデリケートな楽器なんですね。

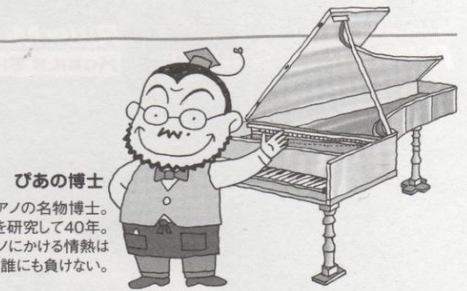
博士 クラヴィコードの音は非常に小さく、そばにいる数人しか演奏が楽しめないのじゃ。しかし微妙なタッチで音色が変化するのが特徴で、そのためバッハやモーツァルトも好んで弾いたと言われておるんじゃよ。

悠子 弦を引っ掻いて弾くといえば、ギターなどが思い浮かびますが、ピアノの起源もギターのような楽器だったのでしょうか。

博士 ピアノの起源と言われているものに、ダルシマーという楽器がある。箱に複数の弦を張ったものをひざの上にのせ、手に持ったバチで弦をはじいて演奏するんじゃよ。

紗也子 シンプルな楽器で、簡単に作れそう。民族楽器などにありそうですね。

博士 北アフリカ、ヨーロッパ、アジアと広い地域でこの楽器が使われていた歴史がある。現在もハンガリーのツィンバロムという楽器が有



びあの博士

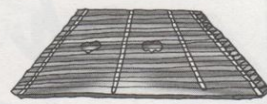
西部ピアノの名物博士。世界中のピアノを研究して40年。ピアノにける情熱は誰にも負けない。

名。やがてダルシマーに鍵盤をつけたものが誕生し、宮廷などでも使われるようになったんじゃ。

悠子 ピアノの仲間にもさまざまなものがあるんですね。現在のよなピアノが誕生したのは300年ほど前と聞いています。

博士 イタリアのクリストフォリがチェンバロを改良、大きな音も小さな音も出るようにして、音楽界に大きな衝撃を与えたのじゃ。その独自のアクションがピアノのルーツと言われておる。

紗也子 新しい楽器としてのピアノが誕生して、音楽の幅も広がっていきそうですね！



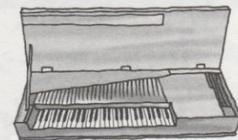
ダルシマー

箱に張った弦を、バチではじいて音を出す打弦楽器の原型。ペルシアのサントール、ハンガリーのツィンバロムなどがある。ひざの上にのせて演奏するものほか、箱に脚がつけられたものもある。



チェンバロ

バロック期の音楽に欠かせない楽器である。小さな爪が弦をはじいて音を出し、鍵盤が2段になっているものもある。一音に鳴らすことで、大きな音を出すこともできた。見た目に優雅な装飾がほどこされたものが多い。



クラヴィコード

長方形の箱型の楽器で、弦をつついて音を出す。音量は小さいが、その繊細さからバッハの息子C.P.E.バッハなどが愛用したことで有名。18世紀ごろまでは4オクターブ程度であったが、やがて6オクターブほどにまで音域が広がった。

ピアノのあれこれ、疑問がわいたら、西部ピアノ質関係(下記フリーダイヤル)までお寄せください。びあの博士がお答えします。また、HPにも色々載っていますので、HPもご覧ください。

ピアノは年1回の調律が必要です

真心と安心をお届けする調律のスペシャリスト



- 常に技術向上を目指す調律師達が扱うピアノは、1人あたり年間1,200台以上
- どんなピアノでもOK(一部追加料金がかかる場合があります)
- お客様が満足するまでこだわります
- 調律はもちろん、修理や整調など、メンテナンス全般に対応
- 1台1台にカルテを作成し、お客様のピアノの状態を管理

読者限定! 調律割引キャンペーン実施中

ピアノ調律 通常価格 **14,000円** ⇒ **10,000円**(税込)
※スタインウェイなど海外ピアノは別途お見積り (グランドピアノはプラス2,100円)

お申し込み方法
● 下記フリーダイヤル(受付AM10:00~PM7:00)
● FAX 03-6420-2117 住所・氏名・電話番号をご明記の上お申し込みください。
営業地域: 1都2府21県 詳しくはお電話にてご確認ください

大人気! 月々960円の保守契約システム

※グランドピアノは、月々1,250円
20,000名以上の会員数を誇り、月々の会費で調律を含めたピアノメンテナンスの全てを受けられる保守契約システム。詳細のお問い合わせ・お申し込みは下記フリーダイヤルまで。 ※写真は会員カード
● 年1回の保守調律が無料。メンテナンスも格安費用でご提供 ● 保険会社との契約により、キズ修理が無料 ※破損の度合いにより、保証の限度あり ※内部部品の損傷、修理は別途費用がかかります ● 不慮の事故による修理不能の場合は、時価相当のピアノをお届け

ピアノDr.西部ピアノ (株)西部ピアノ

■ 東京工房 ■ 大阪工房 ■ 名古屋工房 ■ 福岡工房 ■ 沖縄工房 ■

ピアノ工房で働きませんか。スタッフ募集中。また、調律師養成コースも開設。詳細は下記フリーダイヤルまで。

☎ 0120-752-777

詳しくは、検索エンジンで「調律修理 西部ピアノ」と検索

調律修理 西部ピアノ

検索